

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 671 号	氏名	嶺 豊春
学位審査委員	主 査 西田 孝洋 副 査 中嶋 幹郎 副 査 川上 茂		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、従来は極めて困難であった腹腔内組織への効率的かつ安全性の高い <i>in vivo</i> 遺伝子導入法を可能にする遺伝子導入促進剤を開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では、Plasmid DNA の遺伝子導入に対する摩擦や遺伝子導入促進剤の効果を、ラットおよびマウスの <i>in vivo</i> 全身レベルの実験系を用いて解析している。遺伝子導入促進剤として開発した炭酸カルシウムマイクロフラワーの腹腔内の臓器における遺伝子発現促進効果を、適切な統計学的手法で解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、組織への摩擦に遺伝子発現促進効果があることを見だし、得られた情報に基づき、製剤学的に取り扱いやすい炭酸カルシウムマイクロフラワーを開発している。炭酸カルシウムマイクロフラワーにより、腹腔内組織全体への効率的な遺伝子導入が可能であることを明らかにしている。さらに、安全性の面でも優れることを示している。本研究結果は、腹腔内組織への効率的かつ安全性の高い <i>in vivo</i> 遺伝子導入法の開発に繋がる有益な基礎情報であると考えられる。</p> <p>以上のように本論文は遺伝子医薬品のデリバリー研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			